

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

児童数	33
学校	栄小

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.82	18.46	28.82	37.46	35.00	9.40	149.92	24.00	51.80
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	18.31	18.80	36.94	35.07	33.88	9.51	145.06	14.59	55.07
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子は8項目中4項目が大阪市平均・全国平均を上回った。特に50m走・ソフトボール投げの平均値が全国平均を大きく上回った。体力合計点は全国平均には届かなかったが、大阪市平均を上回った。女子は、8項目中過半数の5項目で大阪市平均・全国平均を上回った。特に握力・50m走・ソフトボール投げの平均値が全国平均を大きく上回った。体力合計点においても、大阪市平均・全国平均を上回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況については、男女ともに肯定的な回答をした児童の割合が100%に達した。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が16%、女子が29%であり、大阪市平均・全国平均を上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度もこれまでのかけあし月間や大なわ大会の取組を継続し、体力向上を図ってきた。昨年度の課題を踏まえ、運動場になわとびジャンプ台を設置したり、教職員が児童と一緒に体を動かしたりしたことで、運動場で遊ぶ児童が増えている。「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答状況では、男女ともに肯定的な回答が100%に達したことから、児童の意識が高まっていることがわかる。また、「運動は大切か」の質問においても、男女共に肯定的な回答が90%を超え、体を動かすことの大切さを理解できている児童が多いことがわかった。一方で、長座体前屈や20mシャトルランは男女ともに平均値が市・全国平均を下回っている。柔軟性や持久力を高める運動を、今後取り入れていく必要がある。

各運動週間や強調週間ににおいて、「がんばりカード」を活用するなど、児童のがんばりを可視化しながら取組を推進してきた。遊びの要素を多く取り入れて体を動かす楽しさを味わわせたり、縦割り班活動や運動集会の内容を充実したりしながら、児童が体を動かす喜びや楽しさを感じられるよう、今後も取組を強化していく。